

令和3年4月19日

文部科学大臣 萩生田光一 殿

新しい歴史教科書をつくる会東京支部
支部長 池田元彦

初等中等教育局教科書課長宛「要請書」への回答を要求します

令和3年3月22日に初等中等教育局教科書課長神山 弘氏宛に同封の「要請書」を書留で郵送し、4月10までの回答を求めましたが、期限を過ぎて1週間が経過しましたが、如何なる返信もいただいていません。

国の教育行政を司る文科省官僚としては、国民の質問、要請等に対しては真摯に対応するのが本来の責務であると考えます。国民の要請に対し何の回答もせず黙殺するのは国民を愚弄する傲岸不遜とみられます。

文科省の長たる萩生田大臣におかれては、このような職務怠慢を看過することなく部下が国民の負託に応えるよう厳しい指揮監督をお願いいたします。

萩生田大臣は政治家として左傾化した文科省改革を実行していただけるものと大いに期待していました。政治家として教育改革に情熱を持っておられたことも知っています。我々が今回要請した「中学歴史教科書より従軍慰安婦の記述削除」についても十分にご理解いただいているものと思ってきました。

ところが、これまでの萩生田大臣の教科書に対する対応は残念ながら我々の期待を裏切るものばかりでした、国会答弁も官僚の操り人形の如く自己の政治信条が全く感じられないものでした。しかし、我々は未だ萩生田大臣が本来の姿に立ち戻っていただけることを願っています。どうか、政治家として文科省を改革し、次代を担う若者が日本の歴史を誇れるようになる行政を切に願います。我々も萩生田先生を信じて応援し続けます。

以 上